



平成29年 5月25日

各 位

会社名 株式会社リボミック
代表者名 代表取締役社長 中村義一
(コード番号：4591 東証マザーズ)
問合せ先 取締役執行役員管理本部長 宮崎正是
TEL. 03-3440-3303

RBM-007 の軟骨無形成症の治験に向けて
大阪大学医学部附属病院小児科の大菌恵一教授と契約を締結

この度、当社の自社創薬製品の一つである RBM-007 (抗 FGF2 アプタマー) の軟骨無形成症治療薬としての臨床試験の実施に向けて、大阪大学医学部附属病院小児科の臨床医である大菌恵一教授と、医学専門家の委嘱に関する契約を締結することとなりましたので、お知らせします。

大菌教授は、大阪大学医学部附属病院小児科を診療科長として主宰し、小児における骨系統疾患の専門医として、軟骨無形成症をはじめとする小児難病の治療法確立に情熱的に取り組んでおられます。

当社での軟骨無形成症治療薬としての RBM-007 の開発については、国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED) から創薬支援推進事業 (希少疾病用医薬品指定前実用化支援事業) として支援を受け、現在、精力的に推進しております。

RBM-007 は、軟骨無形成症モデルマウス (軟骨無形成症の原因である FGFR3 変異遺伝子を導入したマウス) を用いた薬理試験において、低身長改善効果を示し、非臨床 POC の獲得を確認いたしました。

本契約に基づき大菌教授には、その専門的知見を活かし、RBM-007 の臨床試験に関して、医学専門家の立場でメディカルモニタリング、文書の医学レビュー、各種助言等を行っていただきます。

なお、本契約締結による、平成 30 年 3 月期の通期業績への影響は軽微であります。

【株式会社リボミック 代表取締役 中村義一のコメント】

「このたび、小児の骨希少疾患の治療・臨床研究の第一人者である大菌恵一先生のお力添えを頂けることとなり、非常に喜んでおります。大菌先生のご指導をえて、軟骨無形成症の患者様に、一日も早く治療薬をお届けできるように、鋭意努力いたします。」

株式会社リボミックについて

株式会社リボミックは、次世代新薬として注目されている核酸医薬の一種「アプタマー医薬」の開発を目的とする、創薬プラットフォーム系バイオベンチャーです。当社の創薬基盤技術である「RiboART システム」は、様々なアプタマー医薬の開発に応用することが可能です。株式会社リボミックは疼痛・眼疾患・線維症を始めとして、広い領域の Unmet Medical Needs（未だに満足すべき治療法のない疾患領域の医療ニーズ）に対する新薬の提供を目指してまいります。

以上